

JAグループ茨城の自己改革取組成果報告(概要)

※ 本資料は冊子「平成29年度 JA自己改革の取組成果報告」を要約した内容です。

1. 農業分野

(1) 所得増大に向けた販売力強化

- 県内JAにおける販売品販売高は、平成29年度は1,377億円となりました。平成28年度の1,375億円と比較すると2億円(0.1%)増加し、併せて平成26年度の1,196億円と比較すると181億円(15.1%)増加しました。
- また、県内JAにおける買取販売品販売高は平成29年度は127億となり、平成28年度の97億から30億円増加しました。

図1 県内JAにおける販売品販売高(億円)

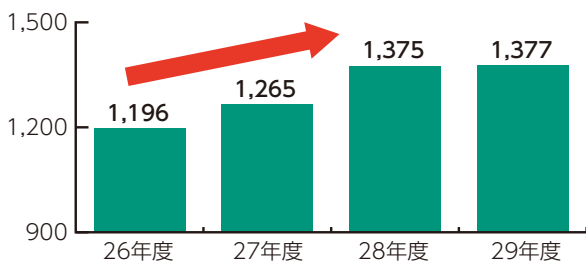
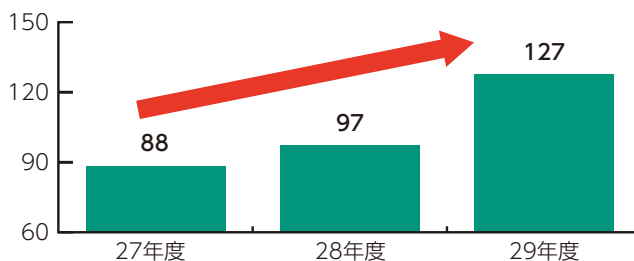


図2 県内JAにおける買取販売品販売高(億円)



県内JAの主要取組み(例示)

JAなめがた

甘藷部会連絡会が平成29年度農林水産祭天皇杯を受賞



焼き芋の焼き方や味を左右する成分を分析し、高品質生産を確立したほか、菓子メーカーの白ハト食品工業と提携した体験型農業テーマパーク施設で6次産業化に取り組むなど、生産者の所得向上や地域活性化への貢献が評価され、栄えある天皇杯を受賞しました。

JA北つくば

水稲新品種「つくばSD2号」の生産委託栽培面積 28年産 67haから29年産 200haへ拡大



「つくばSD2号」は冷めてもおいしい米として、中食用に適した品種で大手コンビニエンスストア向けの生産委託に力を入れ、販路確立が進みました。栽培面積は28年産の67haから29年産の200haへと生産拡大が進みました。

JA常総ひかり

農産物の海外輸出拡大



梨を4カ月以上も貯蔵することができる独自技術等を活かして、ベトナム・タイ・マレーシア・インドネシア・カナダ等、海外へ向けて農産物(梨110.3トン、メロン3.25トン)の輸出拡大に取り組みました(ベトナムへの梨の輸出は日本初)。

JA水戸

JA水戸の「柔甘ねぎ」がGI登録



茨城県の「水戸の柔甘(やわらか)ねぎ」が地理的表示(GI)保護制度に基づく登録産品に登録されました。排水がよく適度な保水性を持ち、十分な厚さの作土層があるという地理的条件から、柔らかく甘みのあるねぎができます。JA水戸管内では「飯沼栗」がGIに登録されており、1JAの管内に2つの品目があるのは全国で初めて。

(2) 所得増大に向けた生産力強化とコスト低減



生産力強化

○ 生産力強化のため、農地情報を管理するGISシステムの導入を開始して、生産管理や空中防除に活用しました。



生産コスト低減

○ 生産コスト低減のため、肥料や農薬の銘柄集約による価格引き下げ、担い手直送大型規格による低コスト化、BB肥料やジェネリック農薬の取扱いによる価格引き下げ、機能を絞った低価格農機の販売などが進みました。

(3) 所得増大に向けた農家経営管理支援の強化

○ 記帳代行制度を16JAが活用し、平成29年度における利用者は1,056人。

平均農業世帯所得4割増

記帳代行制度を利用する農業者の平均農業世帯所得^(※1)は平成29年度は8,064千円となり、平成26年度の5,661千円と比較して約4割増加しました。(図3、図4参照)

図3 平均農業世帯所得(千円)^(※1)

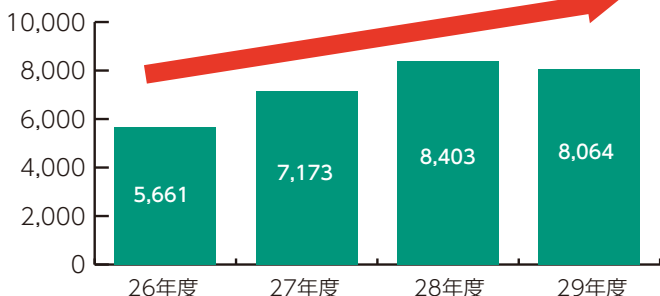
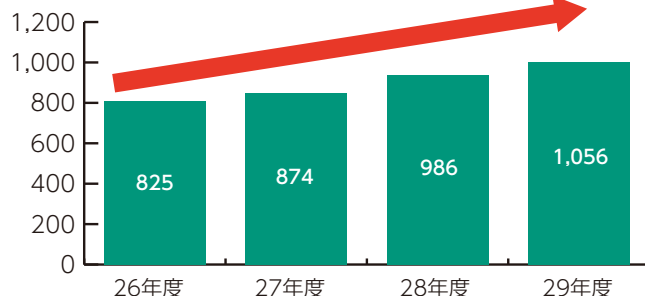


図4 記帳代行制度の利用者の推移(人)



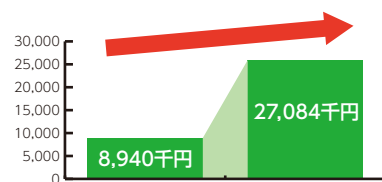
※1 記帳代行制度への参加農家を対象に集計。平成26年度が807世帯、平成27年度が849人、平成28年度が937世帯、平成29年度が1,003世帯

○ 無利子貸付

認定農業者の育成に必要な資金を無利子で貸出

平成28年度の助成実績は916件、8,940千円

平成29年度の助成実績は1,820件、27,084千円

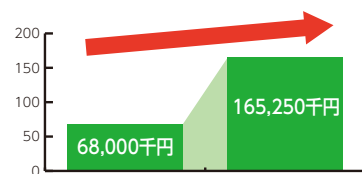


○ 農業機械導入助成

将来中核となる農業者等を対象に農業機械導入にかかる費用を一部助成

平成28年度の助成実績は164件、68,000千円

平成29年度の助成実績は405件、165,250千円

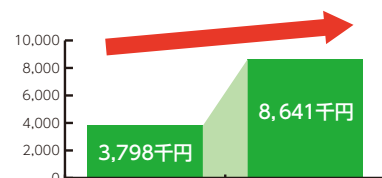


○ 貸付金保証料助成

農業近代化資金の保証料を農業者のコスト低減の一環で助成

平成28年度の助成実績は30件、3,798千円

平成29年度の助成実績は70件、8,641千円



2. 地域・くらし分野

職員の地域貢献活動を推進



○職員の勤務地ならびに居住地の両方で地域貢献活動を推進しました。地域貢献活動への支出としてJAグループ茨城において総額で約1億円を支出しました。

<取り組み事例>

収穫体験、料理教室、各スポーツ大会、ウォーキング大会、地域清掃活動

協同組合ネットいばらき[※]が日本協同組合学会賞「実践賞」を受賞

※県内の協同組合など44団体(生協、漁協、JAなど)で組織



○平成29年度において、協同組合ネットいばらきが日本協同組合学会賞「実践賞」を受賞し全国でも評価されるなど協同組合間連携の拡充が進みました。

<取り組み事例>

ほべたん食堂(子ども食堂)の新規オープン(9月:結城市、1月:土浦市)

3. 組織・経営分野

平成29年度における組合員への配当の増額(+23,603千円)

○組合員への利益還元

平成29年度の配当金が516,281千円となり、平成28年度と比較すると23,603千円増額しました。

増額の内訳は、出資配当が17,167千円、事業利用分量配当が6,436千円となり、農家所得向上に貢献しました。

